



The 72nd General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery

第72回日本消化器外科学会総会

医学の既成概念に対する挑戦



第72回 日本消化器外科学会総会
オープニングセレモニー
パイプオルガン演奏

*Opening
Ceremony*

2017年7月20日(木) 8:00～
石川県立音楽堂 コンサートホール(第1会場)

Program

- 1 J・S・バッハ (1685-1750)
Johann Sebastian Bach

来たれ、創造主なる聖霊よ
Komm, Gott Schopfer, Heiliger Geist BWV 667

- 2 J・S・バッハ (1685-1750)
Johann Sebastian Bach

愛するイエスよ、我らここに集いて
Liebster Jesu, wir sind hier BWV 731

- 3 ヨハン・カスパー・ケルル (1627-1693)
Johann Caspar Kerll

カッコウによるカプリッチョ
Capriccio sopra il cucu

- 4 フェリックス・メンデルスゾーン (1809-1847)
Felix Mendelssohn

オルガンソナタ ニ長調 Op.65, No.5 MWV60
Organ Sonata in D Major, Op. 65, No. 5, MWV 60

アンダンテ Andante
アンダンテ コン モート Andante con moto
アレグロ マエストーゾ Allegro maestoso

Profile

谷内江 潤子
Junko Yachie



仙台市出身。武蔵野音楽大学音楽学学科卒業。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所教会音楽科専攻科ディプロマコース終了。ドイツ国家資格教会音楽家学位取得(レーゲンスブルグ大学認定)。音楽学を永田仁、ピアノを若松紀志子、堀江孝子、グレゴリオ聖歌を橋本周子、オルガンを志村拓生、西尾純子、早島万紀子、ゴットフリート・ホルツァー=グラフの各氏に師事。ザルツブルグ・オルガン・マスターコースはじめ内外のオルガン講習会にて研鑽を積む。日本基督教団金沢教会オルガニスト。

Program Memo

- 1 J.S. バッハ：来たれ、創造主なる聖霊よ BWV 667

既成概念に対する挑戦！この学会のテーマを拝見した時、この曲がすぐ思い浮かびました。バッハは、このパイプオルガンらしい力溢れる音の響きと、後半の自由に動くパッセージの中に、“新しい創造を生み出す聖霊よ、来てください”という祈りを込めました。(約2'30")

- 2 J.S. バッハ：愛するイエスよ、我らここに集いて BWV 731

この曲は『オルガン小曲集』というコラール(賛美歌)の編曲を集めた曲集の中に入っています。子ども達、弟子達の足鍵盤練習のために書かれた曲集ですが、しかし、その内容は豊かな芸術性と深い聖書理解に基づいています。このBWV731は彼の最も美しい装飾コラールの一つとして、多くの人に愛されています。(約2'20")

- 3 J.C.ケルル：カッコウによるカプリッチョ

爽やかな夏の朝、カッコウの鳴き声が山々に響きます。カッコウの学名はcuculus canorusです。canorusとは“美しい声の”という音楽の言葉です。カッコウの曲はたくさんありますが、今朝はドイツ・バロックのオルガニスト、ケルルの曲をお楽しみ下さい。カプリッチョとは既成の形式にとられない自由なという意味のイタリア語です。(約2'30")

- 4 F.メンデルスゾーン：オルガンソナタ ニ長調 Op.65, No.5 MWV60

今年はメンデルスゾーン没後170年のメモリアルイヤーです。死後埋もれていたバッハの「マタイ受難曲」を世に知らしめたことで知られている彼は、6曲のオルガンソナタを書いています。いずれも古典派のソナタ形式を踏襲せず、自由な形をとっています。この5番は自作のコラール、内面的な舞曲風2楽章、そして命と希望に溢れる3楽章からなっています。(約8'30")

谷内江潤子 